

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 12 月 20 日

事業所名 通所支援事業所はなうた (対象者 6 名 回答 6 名)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		
	2 職員の配置数は適切である	6	0	◎療育スペースは広間や学習室、和室等を備えており定員に対しての広さは確保されています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	◎児童の理解力に応じて部屋のシンボルで理解できるようにしたり、分かりやすく構造化されています。	◎すべてバリアフリーではありませんが、危険個所は個別で介助をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	◎室内清掃、消毒、整理整頓に心がけ清潔な空間づくりに努めています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	◎定期的に職員会議やケース会議等を実施し、職員全員が積極的に業務改善や支援の見直しなどを行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	◎HPIにて開示している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	1		◎今後、検討していきたいと思っております。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	◎内部・外部研修共に充実しており、不参加の職員には参加した職員による報告で情報を共有しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0		
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	◎職員間で話し合い計画に沿った支援に努めています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	◎ケース会議にて月案を決め支援しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	◎季節の行事や個々の発達に合わせて固定化しないように工夫しています。また、毎月現状を確認しそれに合わせたプログラムを立てています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6	0	◎どちらの活動も計画に入っており、集団活動へ般化できるように取り組んでいます。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	◎毎日打ち合わせをして療育内容についてしっかりと確認、役割分担を行っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	◎支援終了後、毎日振り返りを行い良かった点や改善点などについて話し合い情報を共有しています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	◎ケース会議、日誌の記録を行い情報共有、検証と改善につなげています。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	◎定期的に事業所でもモニタリングを行い計画の見直しを図っています。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	◎児発管、セラピストが参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	◎ケースに応じて関係機関と連携した支援を行ったことがあります。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	0	◎保護者を介して連携を行っています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	0	◎保護者を介して体制を整えています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	◎担当者会議、保育所等訪問、送迎時等で情報共有、相互理解を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	◎担当者会議への参加及び移行支援シートの作成を行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5		◎園との併行通園のため、日ごろから当所外で、障がいのない子どもと活動する機会があります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	0	◎管理者、児発管、セラピストが参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	◎連絡帳や送迎時に情報共有しています。場合によってはSNS、電話にて対応することがあります。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	0	◎家族支援プログラムの研修会実施のほか、個別面談や機能訓練参加の機会もあります。	◎今後もより丁寧に時間を取って保護者との情報共有をしていきたいです。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	◎契約時にご説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	◎ご相談があった際は上席に報告後、スタッフ間で情報を共有し状況に応じた適切な対応に努めています。保護者との個人面談も行いお話を伺っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	◎父母の会は行っていませんが、親子活動(リトミック、PT、研修)等にて父母間の交流があります。また、保護者研修会の際には参加者同士がコミュニケーションを取れる時間を設けています。	◎父母の会は未実施です。今後は検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	◎上席に報告し、状況に応じた適切な対応に努めています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	◎定期的におたよりを発行しています。手作りであたたかい内容になるよう心掛けています。また、SNSを活用した情報発信も行っています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	◎徹底しています。法令遵守(コンプライアンス)基礎研修もあり、個人情報の取り扱いには充分気をつけています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	◎些細な事にも目配り、気配り、心配りを心掛け、手話、ジェスチャー、カード等様々な意思疎通の手段を用いています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	◎マニュアル策定しており、スタッフ間の周知はされています。また、感染症の研修や不審者対応の訓練も実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	◎定期的に避難訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	◎保護者を介して対応をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	◎保護者を介して対応をしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	◎事例が発生するたびに共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	◎内部、外部の研修を受講し、適切な対応に努めています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0		